

部署名	タイトル	著者
神経内科学	Parvalbumin and calbindin D-28k immunoreactivity in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene. Brain Res 1083(1):196-203, 2006[原著論文]	Sasaki Shoichi, Warita Hitoshi, Komori Takashi, Murakami Tetsuro, Abe Koji, Iwata Makoto: Parvalbumin and calbindin D-28k immunoreactivity in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene. Brain Res 1083(1):196-203, 2006[原著論文]
神経内科学	Low-dose aspirin for prevention of stroke in low-risk patients with atrial fibrillation: Japan Atrial Fibrillation Stroke Trial.. Stroke 37(2):447-451, 2006[原著論文]	Sato Hiroshi, Ishikawa Kinji, Kitabatake Akira, Ogawa Satoshi, Maruyama Yukio, Yokota Yoshiyuki, Fukuyama Takaya, Doi Yoshinori, Mochizuki Seibu, Izumi Tohru, Takekoshi Noboru, Yoshida Kiyoshi, Hiramaro Katsuhiko, Origasa Hideki, Uchiyama Shinichiro, Matsumoto Masayasu, Yamaguchi Takenori, Hori Masatsugu: Low-dose aspirin for prevention of stroke in low-risk patients with atrial fibrillation: Japan Atrial Fibrillation Stroke Trial.. Stroke 37(2):447-451, 2006[原著論文]
神経内科学	Increased von Willebrand factor in acute stroke patients with atrial fibrillation.. J Stroke Cerebrovasc Dis 15(1):1-7, 2006[原著論文]	Sato Mika, Suzuki Akifumi, Nagata Ken, Uchiyama Shinichiro: Increased von Willebrand factor in acute stroke patients with atrial fibrillation.. J Stroke Cerebrovasc Dis 15(1):1-7, 2006[原著論文]
神経内科学	Change of excitability in brainstem and cortical visual processing in migraine exhibiting allodynia. Headache 46:1535-1544, 2006[原著論文]	Shibata Koichi, Yamane Kiyomi, Iwata Makoto: Change of excitability in brainstem and cortical visual processing in migraine exhibiting allodynia. Headache 46:1535-1544, 2006[原著論文]
神経内科学	A case of biopsy-proven leptomeningeal amyloidosis and IVIG-responsive polyneuropathy associated with Ala25Thr transthyretin gene mutation. Amyloid J Protein Folding Disord 13(3):37-41, 2006[原著論文]	Shimizu Yuko, Takouchi Megumi, Matsumura Miyuki, Tokuda Takahiko, Iwata Makoto: A case of biopsy-proven leptomeningeal amyloidosis and IVIG-responsive polyneuropathy associated with Ala25Thr transthyretin gene mutation. Amyloid J Protein Folding Disord 13(3):37-41, 2006[原著論文]
神経内科学	IFN-beta1bを投与した多発性硬化症患者未解決のCD4+CD25+high 制御性T細胞とFoxp3遺伝子発現の検討. 東京女子医大総合研究紀要 25(6):61-62, 2005[研究報告]	清水優子, 太田宏平, 川畑仁子, 大原久仁子, 岩田 誠: IFN-beta1bを投与した多発性硬化症患者未解決のCD4+CD25+high 制御性T細胞とFoxp3遺伝子発現の検討. 東京女子医大総合研究紀要 25(6):61-62, 2005[研究報告]
神経内科学	多発性硬化症におけるインターフェロンβ-1b療法の外來導入の実際.. 東京女子医科大学雑誌 76(5,6):205-511, 2006[原著論文]	大橋高志, 太田宏平, 清水優子, 大原久仁子, 竹内千仙, 岩田 誠: 多発性硬化症におけるインターフェロンβ-1b療法の外來導入の実際.. 東京女子医科大学雑誌 76(5,6):205-511, 2006[原著論文]
神経内科学	多発性硬化症における免疫吸着療法. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「難治性疾患の画期的診断・治療法に関する研究班」平成17年度総括・分担研究報告書:48-51, 2006[研究報告]	大橋高志, 太田宏平, 清水優子, 大原久仁子, 竹内千仙, 岩田 誠: 多発性硬化症における免疫吸着療法. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「難治性疾患の画期的診断・治療法に関する研究班」平成17年度総括・分担研究報告書:48-51, 2006[研究報告]
神経内科学	Predictors of good prognosis in total anterior circulation infarction within 6 h after onset under conventional therapy.. Acta Neurol Scand 113(5):301-306, 2006[原著論文]	Tei Hideaki, Uchiyama Shinichiro, Usui Toru: Predictors of good prognosis in total anterior circulation infarction within 6 h after onset under conventional therapy.. Acta Neurol Scand 113(5):301-306, 2006[原著論文]
神経内科学	抗凝薬と抗血小板薬の使い分け. Current Therapy 24(10):878-881, 2006[総説]	藤津美, 内山真一郎: 抗凝薬と抗血小板薬の使い分け. Current Therapy 24(10):878-881, 2006[総説]
神経内科学	インターベンション時代の脳卒中学 経血管学的指標と脳梗塞の臨床. 日本臨床 64(8):29-32, 2006[総説]	藤津美, 内山真一郎: インターベンション時代の脳卒中学 経血管学的指標と脳梗塞の臨床. 日本臨床 64(8):29-32, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞の危険因子としてのβ2-glycoprotein I(β2グロタン)遺伝子多型. 脳卒中 27(4):608-611, 2005[総説]	藤津美, 内山真一郎, 橋本まをり, 岩田 誠: 脳梗塞の危険因子としてのβ2-glycoprotein I(β2グロタン)遺伝子多型. 脳卒中 27(4):608-611, 2005[総説]
神経内科学	抗血栓療法中に発症した脳出血の臨床的特徴:多施設共同後ろ向き研究(循環器病研究委員会託15公-1). 脳卒中 28(4):539-543, 2006[原著論文]	堤由紀子, 野田順一, 藤津美, 宮崎一秀, 橋本まをり, 岩田 誠: 抗血栓療法中に発症した脳出血の臨床的特徴:多施設共同後ろ向き研究(循環器病研究委員会託15公-1). 脳卒中 28(4):539-543, 2006[原著論文]
神経内科学	頸動脈エコー. 検査と技術 34(11):1347-1352, 2006[総説]	堤由紀子: 頸動脈エコー. 検査と技術 34(11):1347-1352, 2006[総説]
神経内科学	不安定プラークの画像診断. Vascular Lab 3(3):307-310, 2006[総説]	堤由紀子: 不安定プラークの画像診断. Vascular Lab 3(3):307-310, 2006[総説]
神経内科学	機械弁置換症例における栓子シグナルと症状. Vascular Lab 3(3):338-339, 2006[総説]	堤由紀子: 機械弁置換症例における栓子シグナルと症状. Vascular Lab 3(3):338-339, 2006[総説]
神経内科学	New modalities and aspects of antiplatelet therapy for stroke prevention.. Cerebrovasc Dis 21(S1):7-16, 2006[原著論文]	Uchiyama Shinichiro, Nakamura Tomomi, Yamazaki Masako, Kimura Yumi, Iwata Makoto: New modalities and aspects of antiplatelet therapy for stroke prevention.. Cerebrovasc Dis 21(S1):7-16, 2006[原著論文]
神経内科学	New modalities for the treatment of acute cardioembolic stroke.. Intern Med 45(8):493-494, 2006[総説]	Uchiyama Shinichiro: New modalities for the treatment of acute cardioembolic stroke.. Intern Med 45(8):493-494, 2006[総説]
神経内科学	J-TRACE研究会:脳血管疾患・心疾患に伴う血管イベント発症に関する全国実態調査(J-TRACE) シンポジウムIII 脳卒中の大規模調査. 脳卒中 28(4):535-537, 2006[原著論文]	内山真一郎, 折笠秀樹, 後藤信哉, 島田和幸, 池田康夫: J-TRACE研究会:脳血管疾患・心疾患に伴う血管イベント発症に関する全国実態調査(J-TRACE) シンポジウムIII 脳卒中の大規模調査. 脳卒中 28(4):535-537, 2006[原著論文]
神経内科学	抗リリ脂質抗体症候群とTrousseau症候群. 脳卒中 27(4):547-552, 2005[原著論文]	内山真一郎, 藤津美, 清水優子, 橋本まをり, 岩田 誠: 抗リリ脂質抗体症候群とTrousseau症候群. 脳卒中 27(4):547-552, 2005[原著論文]
神経内科学	抗リリ脂質抗体症候群 特集 Cryptogenic stroke(潜因性脳卒中).. 脳と神経 58(11):593-590, 2006[総説]	内山真一郎, 藤津美, 宮崎一秀, 堤由紀子, 橋本まをり, 岩田 誠: 抗リリ脂質抗体症候群 特集 Cryptogenic stroke(潜因性脳卒中).. 脳と神経 58(11):593-590, 2006[総説]
神経内科学	メタボリックシンドローム 特集 高齢者の脳卒中予防. Geriatr Med 44(10):1415-1421, 2006[総説]	内山真一郎: メタボリックシンドローム 特集 高齢者の脳卒中予防. Geriatr Med 44(10):1415-1421, 2006[総説]
神経内科学	アスピリンインターベンション時代の脳卒中学(改定第2版)上-超急性期から再発予防まで-. 日本臨床 増刊7(通巻901):562-567, 2006[総説]	内山真一郎: アスピリン インターベンション時代の脳卒中学(改定第2版)上-超急性期から再発予防まで-. 日本臨床 増刊7(通巻901):562-567, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板療法 インターベンション時代の脳卒中学(改定第2版)下-超急性期から再発予防まで上-超急性期から再発予防まで-. 日本臨床 増刊7(通巻901):75-80, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板療法 インターベンション時代の脳卒中学(改定第2版)下-超急性期から再発予防まで上-超急性期から再発予防まで-. 日本臨床 増刊7(通巻901):75-80, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板療法による心・脳血管障害の予防. 特集 高齢者における薬物介入試験. Geriatr Med 44(12):191-196, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板療法による心・脳血管障害の予防. 特集 高齢者における薬物介入試験. Geriatr Med 44(12):191-196, 2006[総説]
神経内科学	血栓溶解療法の有効性と安全性 特集 虚血性脳卒中の血栓溶解療法. Vasc Lab 3(1):28-34, 2006[総説]	内山真一郎: 血栓溶解療法の有効性と安全性 特集 虚血性脳卒中の血栓溶解療法. Vasc Lab 3(1):28-34, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞 特集 脳卒中プロトタイプ2006. 診断と治療 94(6):1029-1034, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞 特集 脳卒中プロトタイプ2006. 診断と治療 94(6):1029-1034, 2006[総説]
神経内科学	抗血栓療法 動脈硬化危険因子の治療の実際とEBM. 循環器科 59(S3):573-582, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血栓療法 動脈硬化危険因子の治療の実際とEBM. 循環器科 59(S3):573-582, 2006[総説]
神経内科学	わが国で開発されたシロスタゾールの特徴. 特集 抗血小板療法-アテローム血栓症をいかに予防・治療するか?-. Heart View 10(13):1382-1387, 2006[総説]	内山真一郎: わが国で開発されたシロスタゾールの特徴. 特集 抗血小板療法-アテローム血栓症をいかに予防・治療するか?-. Heart View 10(13):1382-1387, 2006[総説]
神経内科学	クロロドグレル 高脂血症. Cardiac Pract 17(4):429-431, 2006[総説]	内山真一郎: クロロドグレル 高脂血症. Cardiac Pract 17(4):429-431, 2006[総説]
神経内科学	指定診療1 脳卒中の一次・二次予防について. 第3回先進医療フォーラム-時間軸からみた脳血管傷害の予防と治療-. 血栓止血誌 17(4):479-484, 2006[総説]	内山真一郎: 指定診療1 脳卒中の一次・二次予防について. 第3回先進医療フォーラム-時間軸からみた脳血管傷害の予防と治療-. 血栓止血誌 17(4):479-484, 2006[総説]
神経内科学	クロロドグレル 脂質のくすり. 日病薬誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]	内山真一郎: クロロドグレル 脂質のくすり. 日病薬誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]
神経内科学	マルチプルリスクファクターと抗血栓療法 脳血管イベント抑制とマルチプルリスクマネージメント. 脳と循環 11(3):217-223, 2006[総説]	内山真一郎: マルチプルリスクファクターと抗血栓療法 脳血管イベント抑制とマルチプルリスクマネージメント. 脳と循環 11(3):217-223, 2006[総説]
神経内科学	脳卒中予防の最近の動向. 日臨内会誌 21(2):211-224, 2006[総説]	内山真一郎: 脳卒中予防の最近の動向. 日臨内会誌 21(2):211-224, 2006[総説]
神経内科学	アテローム血栓症の抗血小板療法 特集 アテローム血栓症の病機と治療. Vasc Lab 3(3):319-326, 2006[総説]	内山真一郎: アテローム血栓症の抗血小板療法 特集 アテローム血栓症の病機と治療. Vasc Lab 3(3):319-326, 2006[総説]
神経内科学	脳ドックの役割と実際 特集 脳卒中予防の強化とその最前線 臨床医に求められるもの. Prog in Med 26(6):1227-1232, 2006[総説]	内山真一郎: 脳ドックの役割と実際 特集 脳卒中予防の強化とその最前線 臨床医に求められるもの. Prog in Med 26(6):1227-1232, 2006[総説]
神経内科学	心原性脳血栓症における急性期抗凝療法の意味とその臨床効果 心房細動と脳血栓症 特集 循環器疾患と抗凝療法 最近の話題. 最新医学 61(8):1621-1625, 2006[総説]	内山真一郎: 心原性脳血栓症における急性期抗凝療法の意味とその臨床効果 心房細動と脳血栓症 特集 循環器疾患と抗凝療法 最近の話題. 最新医学 61(8):1621-1625, 2006[総説]
神経内科学	糖尿病と脳血管障害 シリーズ 糖尿病の治療(9). 東医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]	内山真一郎: 糖尿病と脳血管障害 シリーズ 糖尿病の治療(9). 東医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]
神経内科学	糖尿病と脳血管障害 シリーズ 糖尿病の治療(9). 東医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]	内山真一郎: 糖尿病と脳血管障害 シリーズ 糖尿病の治療(9). 東医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]
神経内科学	ワルファリンにかかわる抗凝薬の展望 特集 心房細動. 血栓と循環 14(1):62-65, 2006[総説]	内山真一郎: ワルファリンにかかわる抗凝薬の展望 特集 心房細動. 血栓と循環 14(1):62-65, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞の予防と治療. 特集 脳卒中の展望. 日病薬誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞の予防と治療. 特集 脳卒中の展望. 日病薬誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]
神経内科学	大規模臨床試験で示されたアスピリンの有効性2 虚血性脳血管障害の予防・治療のエビデンス. 治療学 40(3):255-259, 2006[総説]	内山真一郎: 大規模臨床試験で示されたアスピリンの有効性2 虚血性脳血管障害の予防・治療のエビデンス. 治療学 40(3):255-259, 2006[総説]
神経内科学	血栓症予防のガイドライン 脳卒中予防のための抗血栓療法. 東京都医師会誌 59(3):210-230, 2006[総説]	内山真一郎: 血栓症予防のガイドライン 脳卒中予防のための抗血栓療法. 東京都医師会誌 59(3):210-230, 2006[総説]
神経内科学	t-PA以後の血栓溶解薬開発状況. 特集 t-PAが開く新たな脳梗塞急性期治療の地平. Mebio 23(2):52-57, 2006[総説]	内山真一郎: t-PA以後の血栓溶解薬開発状況. 特集 t-PAが開く新たな脳梗塞急性期治療の地平. Mebio 23(2):52-57, 2006[総説]
神経内科学	メタボリックシンドロームのポリリル戦略. 特集 メタボリックシンドロームと脳卒中. 分子脳血管学 5(1):61-66, 2006[総説]	内山真一郎: メタボリックシンドロームのポリリル戦略. 特集 メタボリックシンドロームと脳卒中. 分子脳血管学 5(1):61-66, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板と抗凝薬の使い分けと日常生活指導. 特集 血栓症 血管障害に対応する医療. 成人病と生活習慣病 36(2):215-219, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板と抗凝薬の使い分けと日常生活指導. 特集 血栓症 血管障害に対応する医療. 成人病と生活習慣病 36(2):215-219, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞 特集 糖尿病マクロアングリオパチー. 日本臨床 64(11):2039-2044, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞 特集 糖尿病マクロアングリオパチー. 日本臨床 64(11):2039-2044, 2006[総説]
神経内科学	血小板血栓とフィブリン血栓 その基礎と臨床 t-PA時代の脳梗塞治療. 成人病と生活習慣病 36(5):488-494, 2006[総説]	内山真一郎: 血小板血栓とフィブリン血栓 その基礎と臨床 t-PA時代の脳梗塞治療. 成人病と生活習慣病 36(5):488-494, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
神経内科学	抗血栓療法のエビデンス。心臓 38(4):412-413, 2006[総説]	内山真一郎:抗血栓療法のエビデンス。心臓 38(4):412-413, 2006[総説]
神経内科学	抗血栓療法 シンボシム2-4 Brain Attack Update. 臨床神経 46(11):844-846, 2006[総説]	内山真一郎:抗血栓療法 シンボシム2-4 Brain Attack Update. 臨床神経 46(11):844-846, 2006[総説]
神経内科学	血栓塞栓症と脳血管障害. 総合臨床 55(7):1872-1881, 2006[総説]	内山真一郎, Tsutsumi Yukiko:血栓塞栓症と脳血管障害. 総合臨床 55(7):1872-1881, 2006[総説]
神経内科学	序文 特集 高齢者の脳卒中予防. Geriatr Med 44(10):1349-1351, 2006[総説]	内山真一郎:序文 特集 高齢者の脳卒中予防. Geriatr Med 44(10):1349-1351, 2006[総説]
神経内科学	脳卒中予防の最近の動向と脳血管障害の疫学Update. Advances in Stroke, Stroke日本語版 1(1):5, 2006[総説]	内山真一郎:脳卒中予防の最近の動向と脳血管障害の疫学Update. Advances in Stroke, Stroke日本語版 1(1):5, 2006[総説]
神経内科学	血栓溶解薬, 抗凝固薬, 抗血小板薬. Advances in Stroke, Stroke日本語版 1(2):4, 2006[総説]	内山真一郎:血栓溶解薬, 抗凝固薬, 抗血小板薬. Advances in Stroke, Stroke日本語版 1(2):4, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞・TIA予防に関するAHA/ASAガイドラインの発表を受けて. Medical Tribune(4月号):134-137, 2006[総説]	内山真一郎:脳梗塞・TIA予防に関するAHA/ASAガイドラインの発表を受けて. Medical Tribune(4月号):134-137, 2006[総説]
神経内科学	脂質低下療法による, 脳卒中患者の再発抑制の効果について. J Med Society(120):60-63, 2006[総説]	内山真一郎:脂質低下療法による, 脳卒中患者の再発抑制の効果について. J Med Society(120):60-63, 2006[総説]
神経内科学	心房細動と脳塞栓. 脳卒中の予防. Brain 13(10):4-5, 2006[総説]	内山真一郎:心房細動と脳塞栓. 脳卒中の予防. Brain 13(10):4-5, 2006[総説]
神経内科学	アテローム硬化・血栓形成の分子機構. インターベンション時代の脳卒中 (改定第2版)上? 超急性期から再発予防まで?. 日本臨床 64(増刊7):91-96, 2006[総説]	山崎昌子, 内山真一郎:アテローム硬化・血栓形成の分子機構. インターベンション時代の脳卒中 (改定第2版)上? 超急性期から再発予防まで?. 日本臨床 64(増刊7):91-96, 2006[総説]
神経内科学	脳血管学的異常. 特集 インターベンション時代の脳卒中 超急性期から再発予防まで. 日本臨床 64(増刊7):204-208, 2006[総説]	山崎昌子, 内山真一郎:脳血管学的異常. 特集 インターベンション時代の脳卒中 超急性期から再発予防まで. 日本臨床 64(増刊7):204-208, 2006[総説]
神経内科学	知っておきたい血管医学用語. CD40L. Vascular Medicine 2(4):369-373, 2006[総説]	山崎昌子, 内山真一郎:知っておきたい血管医学用語. CD40L. Vascular Medicine 2(4):369-373, 2006[総説]
神経内科学	疾患と検査値の推移. 脳梗塞に対する抗血小板療法によるモニター. 検査と技術 34(10):965-971, 2006[総説]	山崎昌子, 内山真一郎:疾患と検査値の推移. 脳梗塞に対する抗血小板療法によるモニター. 検査と技術 34(10):965-971, 2006[総説]
神経内科学	脳塞栓症候群. 総合リハビリテーション 34(9):861-866, 2006[総説]	吉澤浩志, 鄭 秀明:脳塞栓症候群. 総合リハビリテーション 34(9):861-866, 2006[総説]
脳神経外科学	A haplotype spanning two genes, ELN and LIMK1, decreases their transcripts and confers susceptibility to intracranial aneurysms. Hum Mol Genet. 15(10):1722-1734, 2006[原著論文]	Akagawa Hiroyuki, Sakamoto Yasushi, Yoneyama Taku, Kasuya Hidetoshi, Onda Hideaki, Hori Tomokatsu, Kubota Yuichi, Machida Ryuichi, Saeki N, Hata A, Hashiguchi Kazunari, Kimura E: A haplotype spanning two genes, ELN and LIMK1, decreases their transcripts and confers susceptibility to intracranial aneurysms. Hum Mol Genet. 15(10):1722-1734, 2006[原著論文]
脳神経外科学	小児深部小脳萎縮症におけるアップデートナビゲーションの必要性. 脳腫瘍の外科-脳腫瘍手術の進歩と限界-:348-356, 2006.12.5[総説]	天野耕作, 村野善博, 齋藤康雄, 田中雅彦, 丸山隆志, 井上達也, 石川達也, 久保良生, 堀 智勝:小児深部小脳萎縮症におけるアップデートナビゲーションの必要性. 脳腫瘍の外科-脳腫瘍手術の進歩と限界-:348-356, 2006.12.5[総説]
脳神経外科学	Comparison of 1H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. Brain tumor pathology 23:35-40, 2006[原著論文]	チヌルノフミハイル, 小野由子, 久保良生, 堀 智勝:Comparison of 1H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. Brain tumor pathology 23:35-40, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Brain tumor pathology 23:19-27, 2006[原著論文]	Chernov Mikhail F., Hiyashi Motohiro, Izawa Masahiro, Usukura Masao, Yoshida Sigetosi, Ono Yuko, Muragaki Yoshihiro, Kubo Osami, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Brain tumor pathology 23:19-27, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Three-way Bipolar Forceps: a Novel Bipolar Coagulator System for Nerve Stimulation and Detection of Nerve Potentials. Neurologia medico-chirurgica 46(4):169-175, 2006[原著論文]	Fujita Yoshiyuki, Muragaki Yoshihiro, Nambu Kyojiro, Hori Tomokatsu, Iseki Hiroshi: Three-way Bipolar Forceps: a Novel Bipolar Coagulator System for Nerve Stimulation and Detection of Nerve Potentials. Neurologia medico-chirurgica 46(4):169-175, 2006[原著論文]
脳神経外科学	選択的脊髄後根遮断術における術中モニタリング. 脊髄機能診断学 27(1):121-123, 2006[原著論文]	福地聡子, 平 孝臣:選択的脊髄後根遮断術における術中モニタリング. 脊髄機能診断学 27(1):121-123, 2006[原著論文]
脳神経外科学	顔面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(2):20-21, 2006[原著論文]	後藤真一, 平 孝臣, 落合 卓, 佐々木壽之, 堀 智勝:顔面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(2):20-21, 2006[原著論文]
脳神経外科学	腰腿痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(2):20-21, 2006[原著論文]	後藤真一, 平 孝臣, 落合 卓, 佐々木壽之, 堀 智勝:腰腿痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(2):20-21, 2006[原著論文]
脳神経外科学	顔面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]	後藤真一, 平 孝臣, 落合 卓, 佐々木壽之, 堀 智勝:顔面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]
脳神経外科学	腰腿痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]	後藤真一, 平 孝臣, 落合 卓, 佐々木壽之, 堀 智勝:腰腿痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]
脳神経外科学	Latest strategy of Gamma knife surgery for essential trigeminal neuralgia: robotized micro-radiosurgery based on the evaluation and analysis of 220 patients experience. 機能的脳神経外科 45(2):153-158, 2006[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Chernov Mikhail, Murata Tokuko, Yomo Shoji, Kouyama Nobuo, Katayama Yoiko, Kawakami Yoriko, Taira Takao, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: Latest strategy of Gamma knife surgery for essential trigeminal neuralgia: robotized micro-radiosurgery based on the evaluation and analysis of 220 patients experience. 機能的脳神経外科 45(2):153-158, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Current treatment strategy for vestibular schwannoma: Image-guided robotic micro-radiosurgery. J Neurosurg [Suppl] 105:5-11, 2006[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Chernov Mikhail, Murata Tokuko, Maruyama Takashi, Yomo Shoji, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo, Regis Jean: Current treatment strategy for vestibular schwannoma: Image-guided robotic micro-radiosurgery. J Neurosurg [Suppl] 105:5-11, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Image-guided microradiosurgery for skull base brain tumors: advantages of the use of gadolinium-enhanced constructive interference in steady state imaging. J Neurosurg [Suppl] 105:12-17, 2006[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Chernov Mikhail, Murata Tokuko, Maruyama Takashi, Yomo Shoji, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo, Regis Jean: Image-guided microradiosurgery for skull base brain tumors: advantages of the use of gadolinium-enhanced constructive interference in steady state imaging. J Neurosurg [Suppl] 105:12-17, 2006[原著論文]
脳神経外科学	脳腫瘍に対する外科治療(ガンマナイフ)に関する記載. 手術 60(1):27-33, 2006[原著論文]	林 基弘, 堀 智勝:脳腫瘍に対する外科治療(ガンマナイフ)に関する記載. 手術 60(1):27-33, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ脳腫瘍治療における新たな画像sequence/造影CISSの有用性について. 臨床画像 22(4):352-354, 2006[原著論文]	林 基弘, 堀 智勝:ガンマナイフ脳腫瘍治療における新たな画像sequence/造影CISSの有用性について. 臨床画像 22(4):352-354, 2006[原著論文]
脳神経外科学	放射線障害による脳腫瘍-とくにradiosurgeryに伴う発生とその対処法について. 神経研究の進歩 50(2):271-279, 2006[原著論文]	林 基弘:放射線障害による脳腫瘍-とくにradiosurgeryに伴う発生とその対処法について. 神経研究の進歩 50(2):271-279, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ-先頭医療と看護. 臨床看護 32(8):1144-1151, 2006[原著論文]	林 基弘:ガンマナイフ-先頭医療と看護. 臨床看護 32(8):1144-1151, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ治療:適応と効果. 合併症:神経因性疼痛の最新療法(その2). LISA 13(10):922-924, 2006[原著論文]	林 基弘:ガンマナイフ治療:適応と効果. 合併症:神経因性疼痛の最新療法(その2). LISA 13(10):922-924, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Clinical experience with endoscopic-controlled removal of intracranial vestibular schwannomas. Minimally invasive neurosurgery and multidisciplinary neurotraumatology. :176-180, 2006[原著論文]	Hori Tomokatsu, Maruyama Takashi, Chernov Mikhail: Clinical experience with endoscopic-controlled removal of intracranial vestibular schwannomas. Minimally invasive neurosurgery and multidisciplinary neurotraumatology. :176-180, 2006[原著論文]
脳神経外科学	グロオマー-最新の治療-術中モニタリング. 脳と神経 58(12):1043-1050, 2006[総説]	Iseki Hiroshi, Muragaki Yoshihiro, Maruyama Takashi, Nakamura Ryoichi, Oikawa Mitsuteru, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: グロオマー-最新の治療-術中モニタリング. 脳と神経 58(12):1043-1050, 2006[総説]
脳神経外科学	先端工外科学における医工連携-インテリジェント手術室. 臨床看護 32(8):1113-1119, 2006[総説]	伊藤洋, 村野善博, 中村亮一:先端工外科学における医工連携-インテリジェント手術室. 臨床看護 32(8):1113-1119, 2006[総説]
脳神経外科学	Fatal intratumoral hemorrhage immediately after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Minim Invasive Neurosurg. 49(4):251-254, 2006[症例報告]	Izawa Masahiro, Chernov Mikhail, Hayashi Motohiro, Kubota Yuichi, Kasuya Hidetoshi, Hori Tomokatsu: Fatal intratumoral hemorrhage immediately after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Minim Invasive Neurosurg. 49(4):251-254, 2006[症例報告]
脳神経外科学	Childhood leukemia and magnetic fields in Japan: A case-control study of childhood leukemia and residential power-frequency magnetic fields in Japan. Int. J. Cancer 119:643-650, 2006[原著論文]	Kabuto michinori, Nitta Hiroshi, Yamamoto Seiichi, Yamaguchi Naohito, Akiba suminori, Honda yasushi, Higahira Jun, Isaka katsuo, saito tomihiro, Ojima toshiyuki, Nakamura yosikazu, Mizoue tatsuya, Ito satoko, Eboshida akira, yamazaki shin, soejima shigeru, kurokawa yoshika, Kubo Osami: Childhood leukemia and magnetic fields in Japan: A case-control study of childhood leukemia and residential power-frequency magnetic fields in Japan. Int. J. Cancer 119:643-650, 2006[原著論文]
脳神経外科学	重症くも膜下出血の治療:ニカルジピン徐放剤を用いて. 脳卒中の外科 34:274-279, 2006[原著論文]	樽谷英俊, 恩田英明, 氏家弘, 山口浩司, 川島明次, 谷坂 比嘉隆, 加藤宏一, 久保田有一, 岡田芳和, 堀智勝:重症くも膜下出血の治療:ニカルジピン徐放剤を用いて. 脳卒中の外科 34:274-279, 2006[原著論文]
脳神経外科学	カルシウム拮抗薬はスズパムに有効か? 脳卒中の外科 (増刊号) 34 (suppl):83-86, 2006[原著論文]	樽谷英俊, 恩田英明, 堀智勝:カルシウム拮抗薬はスズパムに有効か? 脳卒中の外科 (増刊号) 34 (suppl):83-86, 2006[原著論文]
脳神経外科学	脳動脈瘤の遺伝解析. 脳卒中 27:596-601, 2006[総説]	樽谷英俊:脳動脈瘤の遺伝解析. 脳卒中 27:596-601, 2006[総説]
脳神経外科学	Clinical and radiological features related to the proliferating potential in 342 patients with meningioma. Neurosurg Rev 29:293-297, 2006[原著論文]	: Clinical and radiological features related to the proliferating potential in 342 patients with meningioma. Neurosurg Rev 29:293-297, 2006[原著論文]
脳神経外科学	特発性正常圧水頭症患者における歩行解析. 医療 60(7) [原著論文]	加藤宏一, 堀 智勝, 廣瀬 龍, 小林一成:特発性正常圧水頭症患者における歩行解析. 医療 60(7) [原著論文]
脳神経外科学	Intrasellar Remote Metastasis from Adenoid Cystic Carcinoma of Parotid Gland: Case report. Endocrine Journal 53(5):659-663, 2006[症例報告]	Kawamata Takakazu, Harashima Shiro, Kubo Osami, Hori Tomokatsu: Intrasellar Remote Metastasis from Adenoid Cystic Carcinoma of Parotid Gland: Case report. Endocrine Journal 53(5):659-663, 2006[症例報告]

部署名	タイトル	著者
脳神経外科	内視鏡支援経鼻的洞下垂体腫瘍摘出術の効用. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl):20-22, 2006[原著論文]	川俣貴一, 天野耕作, 田中雅彦, 久保長生, 堀 智勝:内視鏡支援経鼻的洞下垂体腫瘍摘出術の効用. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl):20-22, 2006[原著論文]
脳神経外科	頸動脈多発病変症例におけるSTA-MCA anastomosis. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:91-95, 2006[原著論文]	川俣貴一, 岡田芳和, 川島明次, 山口浩司, 堀 智勝:頸動脈多発病変症例におけるSTA-MCA anastomosis. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:91-95, 2006[原著論文]
脳神経外科	もやもや病に対する直接血行再建術の工夫. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:79-83, 2006[原著論文]	川島明次, 岡田芳和, 川俣貴一, 藍原康雄, 山口浩司, 堀 智勝:もやもや病に対する直接血行再建術の工夫. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:79-83, 2006[原著論文]
脳神経外科	Using endothelial nitric oxide synthase gene polymorphisms to identify intracranial aneurysms more prone to rupture in Japanese patients. J Neurosurg 105(5):717-722, 2006[原著論文]	Krischok B, Kasuya Hidetoshi, Akagawa Hiroyuki, Onda Hideaki, Hori Tomokatsu: Using endothelial nitric oxide synthase gene polymorphisms to identify intracranial aneurysms more prone to rupture in Japanese patients. J Neurosurg 105(5):717-722, 2006[原著論文]
脳神経外科	Is there any evidence for linkage on chromosome 17cen in affected Japanese sib-pairs with an intracranial aneurysm?. J Hum Genet. 51(5):491-494, 2006[原著論文]	Krischok B, Akagawa Hiroyuki, Kasuya Hidetoshi, Onda Hideaki, Yoneyama Taku, Hori Tomokatsu: Is there any evidence for linkage on chromosome 17cen in affected Japanese sib-pairs with an intracranial aneurysm?. J Hum Genet. 51(5):491-494, 2006[原著論文]
脳神経外科	ラクテック. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ 1(1):172-177, 2006[総説]	久保長生, 川俣貴一, 堀 智勝:ラクテック. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ 1(1):172-177, 2006[総説]
脳神経外科	脊索腫治療後に髄膜腫が発生した一例. Neuro-Oncology(Tokyo) 15(2):64-67, 2006[症例報告]	久保長生, 川俣貴一, 田中雅彦, 天野耕作, 堀 智勝:脊索腫治療後に髄膜腫が発生した一例. Neuro-Oncology(Tokyo) 15(2):64-67, 2006[症例報告]
脳神経外科	awake craniotomyと麻酔管理:脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善浩, 堀智勝:awake craniotomyと麻酔管理:脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]
脳神経外科	医用断層画像オーバーレイ表示システムの開発. 日本コンピュータ外科学会誌 8(1):9-17, 2006[原著論文]	松家大介, 石川達也, 村垣善浩, 伊関洋, 正宗賢:医用断層画像オーバーレイ表示システムの開発. 日本コンピュータ外科学会誌 8(1):9-17, 2006[原著論文]
脳神経外科	ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. Innevision 21(9):55-58, 2006[原著論文]	村垣善浩, 中村亮一, 丸山隆志, 伊関洋, 高倉公朗, 堀智勝:ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. Innevision 21(9):55-58, 2006[原著論文]
脳神経外科	多中心性gliomaに対する画像上全摘出術の意義. Neuro-Oncology(Tokyo) 16(1):32-35, 2006[原著論文]	村垣善浩, 丸山隆志, 田中雅彦, 伊関洋, 久保長生, 高倉公朗, 堀 智勝:多中心性gliomaに対する画像上全摘出術の意義. Neuro-Oncology(Tokyo) 16(1):32-35, 2006[原著論文]
脳神経外科	情報誘導によるグリオーマ手術. 脳神経外科ジャーナル 15(5):384-395, 2006[総説]	村垣善浩, 丸山隆志, 中村亮一, 伊関洋, 久保長生, 高倉公朗, 堀智勝:情報誘導によるグリオーマ手術. 脳神経外科ジャーナル 15(5):384-395, 2006[総説]
脳神経外科	MRIガイド下治療の最新動向. ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. INNERVISION 21(9):55-58, 2006[総説]	村垣善浩, 伊関洋, 中村亮一, 高倉公朗, 丸山隆志, 堀智勝:MRIガイド下治療の最新動向. ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. INNERVISION 21(9):55-58, 2006[総説]
脳神経外科	悪性脳腫瘍等の外科的治療における精密誘導手術を実現する探索型マイクロ手術ロボットシステムの開発. 医科学応用研究財団研究報告 23:82-87, 2006[原著論文]	中村亮一, 悪性脳腫瘍等の外科的治療における精密誘導手術を実現する探索型マイクロ手術ロボットシステムの開発. 医科学応用研究財団研究報告 23:82-87, 2006[原著論文]
脳神経外科	臨床再生医学のための細胞移植手術用精密誘導マニピュレータシステムに関する基礎的研究. サッポロ生物科学振興財団 第20回 助成研究報告書:25-30, 2006[総説]	中村亮一, 村垣善浩, 丸山隆志, 大和雅之:臨床再生医学のための細胞移植手術用精密誘導マニピュレータシステムに関する基礎的研究. サッポロ生物科学振興財団 第20回 助成研究報告書:25-30, 2006[総説]
脳神経外科	HOW SOON WILL METASTATIC PATIENT COME BACK FOR ANOTHER RADIOSURGERY?. J Neurosurg 15(Suppl):82-85, 2006[原著論文]	Nakaya Kotaro, Hayashi Motohiro, Izawa Masahiro, Ochiai Taku, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: HOW SOON WILL METASTATIC PATIENT COME BACK FOR ANOTHER RADIOSURGERY?. J Neurosurg 15(Suppl):82-85, 2006[原著論文]
脳神経外科	Development of Surgical Manipulator System "HUMAN" for Clinical Neurosurgery. Japan Medical Association Journal 49(11,12):335-344, 2006[原著論文]	Nishizawa Kouji, Fujie G, Masakatsu, Hongo Kazuhiro, Dohi Takeyoshi, Iseki Hiroshi: Development of Surgical Manipulator System "HUMAN" for Clinical Neurosurgery. Japan Medical Association Journal 49(11,12):335-344, 2006[原著論文]
脳神経外科	サイフォン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴ったプロラクチノーマの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(6):79-81, 2006[症例報告]	大塚忠典, 三木伸泰, 小野昌実, 大竹啓之, 佐田 品, 関 敏郎, 岡田芳和, 川俣貴一, 堀 智勝, 高野加寿恵:サイフォン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴ったプロラクチノーマの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(6):79-81, 2006[症例報告]
脳神経外科	Vein graft bypassの工夫と臨床応用. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:29-33, 2006[原著論文]	岡田芳和, 川島明次, 川俣貴一, 山口浩司, 堀 智勝:Vein graft bypassの工夫と臨床応用. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:29-33, 2006[原著論文]
脳神経外科	インフォームドコンセントの実践. 検査, 治療. CEA, CAS - 閉塞性脳血管障害インフォームドコンセント. 脳神経外科大系 15:34-45, 2006[総説]	岡田芳和:インフォームドコンセントの実践. 検査, 治療. CEA, CAS - 閉塞性脳血管障害インフォームドコンセント. 脳神経外科大系 15:34-45, 2006[総説]
脳神経外科	高精度な脳腫瘍摘出手術を支援する術中MRIシステム. 日立評論 88(9):24-27, 2006[研究報告]	小澤紀彦, 渡部滋, 伊関洋, 白川洋, 村垣善浩:高精度な脳腫瘍摘出手術を支援する術中MRIシステム. 日立評論 88(9):24-27, 2006[研究報告]
脳神経外科	Hypnatremia after transphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]	Sata Akira, Hizuka Naomi, Kawamata Takakazu, Hori Tomokatsu, Takano Kazuo: Hypnatremia after transphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]
脳神経外科	Fifteen year experience of intrathecal baclofen treatment in Japan.. Acta Neurochir 99:61-3, 2006[原著論文]	Taira Takaomi, Ochiai Taku, Goto shinichi, Hori Tomokatsu: Fifteen year experience of intrathecal baclofen treatment in Japan.. Acta Neurochir 99:61-3, 2006[原著論文]
脳神経外科	Multimodal neurosurgical strategies for the management of dystonias. Acta Neurochir 99:29-31, 2006[原著論文]	Taira Takaomi, Ochiai Taku, Goto shinichi, Hori Tomokatsu: Multimodal neurosurgical strategies for the management of dystonias. Acta Neurochir 99:29-31, 2006[原著論文]
脳神経外科	アウトカムリサーチ. 臨床看護 32(8):1159-1163, 2006[総説]	田倉智之:アウトカムリサーチ. 臨床看護 32(8):1159-1163, 2006[総説]
脳神経外科	New Radiofrequency Coil Integrated with a Stereotactic Frame for Intraoperative MRI-Controlled Stereotactically Guided Brain Surgery. Stereotactic and Functional Neurosurgery 84(4):136-141, 2006[原著論文]	Taniguchi Hiroki, Muragaki Yoshihiro, Iseki Hiroshi, Nambu Kyojiro, Taira Takaomi: New Radiofrequency Coil Integrated with a Stereotactic Frame for Intraoperative MRI-Controlled Stereotactically Guided Brain Surgery. Stereotactic and Functional Neurosurgery 84(4):136-141, 2006[原著論文]
脳神経外科	ガンマナイフによる組織変化と臨床応用. 松本衛学 32(3):188-198, 2006[総説]	富田純子, 林 基弘:ガンマナイフによる組織変化と臨床応用. 松本衛学 32(3):188-198, 2006[総説]
脳神経外科	Effect of sleep-wake rhythm on consciousness disturbance in cerebrovascular patients. British Journal of Neuroscience Nursing 21(10):514-520, 2006[原著論文]	Yamauchi Noriko, Ito Keiichi, Imao Keoru, Fujita Yoshiyuki, Mogi Junichi, Iseki Hiroshi: Effect of sleep-wake rhythm on consciousness disturbance in cerebrovascular patients. British Journal of Neuroscience Nursing 21(10):514-520, 2006[原著論文]
脳神経外科	TSH産生腫瘍におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 増刊号「内分泌クリニカル・カンファレンス46」54:36-39, 2006[原著論文]	吉原 俊, 磯崎 聡, 肥塚直美, 原田千絵, 小野昌実, 川俣貴一, 堀 智勝, 高野加寿恵: TSH産生腫瘍におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 増刊号「内分泌クリニカル・カンファレンス46」54:36-39, 2006[原著論文]
脳神経外科	A case of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma presenting with tumor bleeding and cerebrospinal fluid dissemination. Brain tumor pathology 23(1):55-63, 2006[症例報告]	asano kenichiro, miyamoto seiichi, kubo osami, kikukawa tomoshige, yaghashi akitori, ohkuma hiroki: A case of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma presenting with tumor bleeding and cerebrospinal fluid dissemination. Brain tumor pathology 23(1):55-63, 2006[症例報告]
脳神経外科	脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善浩, 堀智勝:脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]
脳神経外科	脳神経腫瘍の手術(醒剤を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善浩, 堀智勝:脳神経腫瘍の手術(醒剤を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]
脳神経外科	脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善浩, 堀智勝:脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]
脳神経外科	脳神経腫瘍の手術(醒剤を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善浩, 堀智勝:脳神経腫瘍の手術(醒剤を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	Reduced Capacity of Mononuclear Cells to Synthesize Cytokines against an Inflammatory Stimulus in Uremic Patients. Nephron Clin Pract 104(3):c113-c119, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibuya Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Nitta Kosaku: Reduced Capacity of Mononuclear Cells to Synthesize Cytokines against an Inflammatory Stimulus in Uremic Patients. Nephron Clin Pract 104(3):c113-c119, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2): 358-362, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibuya Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Nitta Kosaku: Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2): 358-362, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	アルブミンの功罪. 総合臨床 55(11):2618-2619, 2006[総説]	青木明日香, 新田孝作:アルブミンの功罪. 総合臨床 55(11):2618-2619, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	慢性血液透析患者におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東大医大誌 76(2):92-97, 2006[原著論文]	瀬田 勘, 萩原 隆, 新田孝作:慢性血液透析患者におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東大医大誌 76(2):92-97, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcetate-Free Biofiltration(ABF)への変更で, 従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 腎と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]	菊池 勘, 潮平俊治, 石森 勇, 松本和之, 青木明日香, 鈴木浩一, 塚田三佐緒, 池田宗三人, 芳田 工, 三和宗郎子, 新田孝作, 萩原 隆: HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcetate-Free Biofiltration(ABF)への変更で, 従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 腎と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]